

令和7年7月号

発行所

一般社団法人 岩手県畜産協会

〒020-0605 滝沢市砂辺389番7

☎ 019-694-1300(代)

FAX 019-694-1305

URL: http://iwate.lin.gr.jp

E-Mail: info@iwate.lin.gr.jp

印刷 小松総合印刷

題字は達増知事



畜産業の発展と豊かな食生活への貢献のために

独立行政法人 家畜改良センター岩手牧場

場長 外山高士

家畜改良センター岩手牧場は、明治29年に農商務省岩手種馬所として設置されて軍馬の育成に取り組み、太平洋戦争後の昭和21年には農林省の所管となり、岩手種畜牧場として家畜の改良を行うこととなりました。平成2年には、これまで個々に独立して業務を行っていた種畜牧場を統合して全国的な視点で家畜の改良増殖を行う組織として、福島県西郷村の本部と全国に11の牧場を置く、家畜改良センターの1牧場となりました。平成13年に独立行政法人化し、現在の独立行政法人家畜改良センター岩手牧場となっています。

現在、岩手牧場では、敷地面積638haで乳用牛のホルスタイン種約850頭を飼養し、岩手牧場で生産した粗飼料を給与して、乳量や乳成分に優れた雌牛の生産に利用する雄牛の生産・供給に取り組んでいます。また、雄牛を生産するプロセスで生産される生乳や生体出荷を通じた食肉を食品原料として供給していることから、安全な生乳・食肉を生産する責務を果たすため、平成25年に農場HACCPを、平成30年にはJGAP認証を取得し更新を行いながら、飼養する牛群の衛生管理を行うマネジメントシステムを構築し、優良な雌牛群を造成するとともに持続的な農場経営を目指しています。

最近の我が国の農政をめぐる大きな動きとして、

2024年6月に約四半世紀ぶりに「食料・農業・農村基本法」が改正されたところですが、改正された本法に基づき、本年4月に「食料・農業・基本計画」と「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」、「家畜改良増殖目標」、「鶏の改良増殖目標」の改正も行われたところです。家畜改良センターでは、これらの基本方針や改良増殖目標を実現するため、来年度からスタートする新たな5か年間の計画(中期計画)を策定しているところであり、①家畜の改良増殖②飼養管理の改善③飼料作物種苗の増殖・検査④畜産技術の調査・研究⑤畜産技術の普及・講習⑥牛の個体識別など、引き続き取り組んで行くことでわが国の畜産の発展と国民の豊かな食生活に貢献していきます。

岩手牧場では、特に乳用牛の改良目標である、泌乳形質(乳量、乳成分)とともに強健性に関わる体型形質や繁殖性などの改良により長命連産性を高めるなど、乳用牛の生涯生産性を高めるためにこれらの形質をバランス良く改良し、日本の気候風土により適した種雄牛の作出に努めていくこととしています。

また、新型コロナウイルスの発生により中止していた牧場公開Day!の再開や、飼養管理技術研修会の開催などを通じて、畜産業への理解醸成や
(次頁へ続く)

畜産春秋

もくじ CONTENTS

畜産春秋.....	1	2025岩手県ブラックアンドホワイトショー開催.....	6
第93回定時総会.....	2	畜産フェア開催.....	6
肉用牛のゲノミック評価について.....	3	家畜の保健衛生(160).....	6
岩手県チキン協同組合第53回通常総会.....	4	畜産の研究(155).....	7
岩手県馬事振興会第53回定時総会.....	4	乳用牛群検定情報(18).....	9
岩手県養豚振興会第28回通常総会及び養豚経営研修会.....	5	畜産技術情報(109).....	10
令和7年度岩手県乳用牛群検定推進協議会通常総会.....	5	子牛市場及び家畜市場成績.....	12

【「岩手の畜産」は、バックナンバーも含め協会のホームページでご覧いただけます。】

畜産振興にも努めて参りたいと考えております。さらに、地元岩手県における畜産振興として、酪農家における牛群の改良を促進するための雌牛の配布や売り払いも実施しており、農業協同組合等

を窓口としてお申込みいただけるようになっております。雌牛配布や売り払いの詳細については、お気軽にお問合せをいただき多くの酪農家の方にご利用いただけると幸いです。

第93回定時総会

令和7年6月27日に一般社団法人岩手県畜産協会の第93回定時総会が開催され、上程の第1号議案「令和6年度計算書類及び財産目録について」及び第2号議案「役員を選任について」は、それぞれ原案どおり可決承認されました。

1 会長挨拶要旨

畜産を取り巻く経営環境は、近年の飼料価格の高止まりの状況下で、特に肉用牛経営においては、これまで和牛の枝肉及び子牛価格が低迷するなど、収益性が低下し、大変厳しい状況であったが、繁殖農家の離農などにより、和子牛の市場上場頭数が減少傾向にあることなどから、昨年末以降、子牛価格は上昇傾向に転じ、また、枝肉価格についても、比較的値ごろな4等級を中心に前年を上回る水準で推移している。

このような中で、国においては、この4月に、酪農及び肉用牛生産の振興、家畜の改良施策に関し、「酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律」及び「家畜改良増殖法」に基づき、近年の情勢変化等を踏まえ、中長期的に取り組むべき方針として、「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」及び「家畜改良増殖目標」を定めたところ。

この中で、今後の方向性として、生乳や牛肉の需要拡大への取組と、需要に応じた生産の推進による需給ギャップの解消のほか、国産飼料の生産、利用の拡大を通じた生産コストの低減と、生産性の向上などを目指すこととしている。今後、本県では、この国の方針に基づき、具体的な対応策等について、関係者との意見交換等を踏まえ、検討、整理される旨、聞いている。

当協会としては、これらの情報等を共有し、引き続き、県内関係機関、団体との連携を図りながら、個別経営体への経営改善指導や生産基



盤の維持、強化等につなげて参りたい。

2 令和6年度事業報告

(1) 概況

令和6年5月に、本県の養豚場で初めて豚熱の発生が洋野町の1養豚場で確認され、令和7年1月には、相次いで高原性鳥インフルエンザが盛岡市と軽米町の5か所の養鶏場で発生した。このように、本県では、家畜伝染病の発生が本県畜産の生産基盤を脅かしており、引き続き、防疫対策の徹底について万全を期する必要がある。

こうした中、当協会において、本年10月に北海道で実施される全日本ホルスタイン共進会への出品対策として令和6年9月に開催した県畜産共進会(乳牛)では、多くの出品牛がエントリーされ、大いに盛り上がりを見せた。

令和6年度から新たにスタートした優良繁殖雌牛更新加速化事業は、畜産生産基盤の強化を図るため、高齢の繁殖雌牛から増体や肉質に優れた若い繁殖雌牛への牛群の転換を支援(更新1頭当たり10~15万円の奨励金交付)するもので、6年度実績が486頭と、本事業が和牛繁殖農家の改良意欲を喚起した結果となった。

また、当協会が実施してきた生乳検査事業が令和4年度末で終了となったことに伴い、今後の業務の効率化や収益改善等を図る必要が生じたことから、令和5年度に組織を挙げて集中的に今後の対策を検討し、令和6年度

くずまき高原牧場
酪農教育ファーム認証牧場(第031002号)
牧場体験承っております
アイスクリーム作り体験、牛・羊の世話、
乳搾り体験、羊の毛刈り体験、しいたけ採取体験



乳製品の宅配承っております



かわいい動物たちとふれあえます

(ご予約・お問い合わせ先)

くずまき交流館 プラトール
TEL. 0195-66-0555
<https://kuzumaki.jp>

から、特に県内の肉用牛農家の意向等踏まえ肉用牛ゲノミック評価窓口業務を開始するとともに、当協会が取り扱う県内の牛及び豚のワクチン接種率が低下している現状等鑑み、家畜伝染性疾病の発生予防を図るため、ワクチン接種率の向上を目指し、各地域協議会での研修会開催や啓発パンフレットの作成等、家畜衛生思想の普及啓発を強化した。

肉用牛ゲノミック評価窓口業務については、家畜改良事業団や県内農協などの関係機関、団体等との連携を進めながら、計画を上回るゲノム検査を延べ1,178件実施するなど、肉用牛の遺伝的能力の向上につなげた。

畜産経営を取り巻く環境は、令和4年以降、ウクライナ情勢が長期化し、飼料や燃料、光熱費などが軒並み上昇し、輸入依存の危うさが浮き彫りとなっている。特に経営を左右する飼料価格が高止まっている状態が長年続いていることなど、依然、厳しい状況が続いている。

このように、畜産経営については、先行きに不透明感を増す状況が続いており、当協会には、今後一層、畜産農家のニーズへの的確な対応が求められている。

(2) 事業区分ごとの事業費

ア 実施事業

(ア) 継続事業 1 畜産経営の改善指導等	105,744千円
(イ) 継続事業 2 肉用牛肥育経営の安定	385,834千円
(ウ) 継続事業 3 家畜自衛防疫	168,849千円
計	660,426千円

イ その他事業

(ア) その他 1 家畜人工授精用精液流通調整事業	50,480千円
(イ) その他 2 家畜登録事業	57,757千円
(ウ) その他 3 指導者の育成及び畜産団体の支援	3,822千円
計	112,058千円

3 新役員体制

○会長

伊藤 清孝【再任】(岩手県農業協同組合中央会 代表理事会長)

○副会長

渡辺 亨【再任】(学識経験者)

○常務理事

菊池 伸也【再任】(学識経験者)

○理事

杉原 永康【再任】(一般社団法人岩手県農業会議 会長)

高橋 司【再任】(全国農業協同組合連合会岩手県本部 県本部長)

菊池 秀峰【再任】(全国共済農業協同組合連合会岩手県本部 県本部長)

沼田 弘美【再任】(岩手県農業共済組合 組合長理事)

千葉 和彦【新任】(公益社団法人岩手県農業公社 理事長)

藤村 明智【再任】(株式会社いわちく 代表取締役社長)

武田 哲【再任】(岩手県市長会)

中居 健一【再任】(岩手県町村会)

佐々木一弥【再任】(一般社団法人岩手県獣医師会 会長)

遠藤 政明【新任】(岩手県中央家畜衛生協議会 代表幹事)

村上 睦【再任】(岩手県南家畜衛生推進協議会 代表幹事)

下山 琢也【再任】(岩手県北家畜衛生協議会 代表幹事)

橋本 晋栄【再任】(岩手県養豚振興会 会長)

○監事

荒木田裕樹【再任】(岩手県信用農業協同組合連合会 代表理事理事長)

十和田和也【新任】(岩手県農業信用基金協会 専務理事)

小西 善之【再任】(学識経験者(岩手中央酪農協同組合 代表理事組合長))

肉用牛のゲノミック評価について

当協会では、令和6年度から家畜改良事業団(LIAJ)が行う、肉用牛のゲノミック評価に係る県内窓口業務を行っています。

本稿では、ゲノミック評価活用のメリット、ゲノミック評価申込の手順等について、ご紹介します。

LIAJの肉用牛のゲノミック評価は、従来の遺伝的能力評価に用いられる血統情報と枝肉成績に、SNP情報(DNA型情報)を加えることで、信頼度の高い評価値を得ることができます。評価できる形質は、枝肉6形質(枝肉重量、ロース芯面積、バラの厚さ、皮下脂肪厚、歩留基準値、BMS NO.)、脂肪酸組成形質(一価不飽和脂肪酸(MUFA)、オレイン酸割合)、発育関連形質(生時体重、在胎期間、日齢枝肉重量)の3区分です。

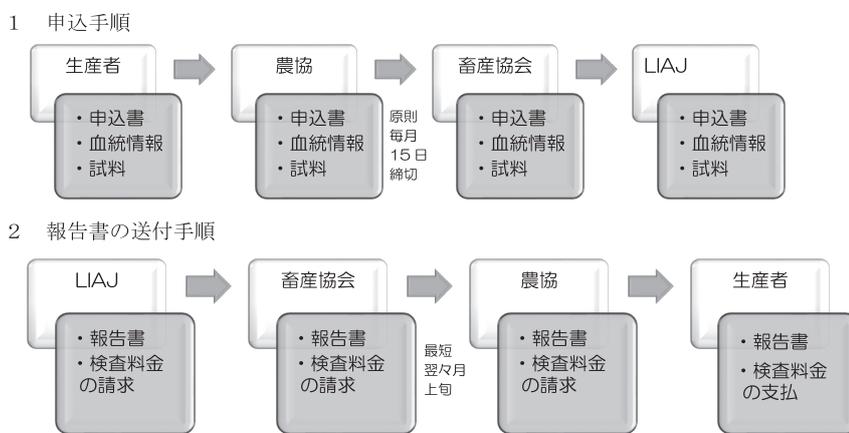
 <p>登録番号 L140000002</p>	<p>母豚2,000頭の一貫経営</p> <p>・ JGAP認証農場 ・ 良質豚糞堆肥の供給</p> <p>・ 徹底した衛生管理と優良系統豚による斉一性の高い高品質豚肉の生産・供給</p>	<p>「みなみよ〜とん株式会社」</p> <p>岩手町大字川口36-242-3</p> <p>TEL. 0195-62-9087 FAX. 0195-62-9373</p> <p>※精肉のご用命は岩手畜流会(食肉専門店)へ</p>

また、ゲノミック評価を活用して、早期の子牛選畜や優良な繁殖雌牛の保留による牛群全体の能力の向上や、G-Eva（無料のウェブ情報サービス）の交配予測を活用した種雄牛の選定により、優良な子牛の安定生産が期待できるなどのメリットがあります。

加えて、生後間もなく評価が可能で頻度が毎月評価のため、優良繁殖雌牛更新加速化事業の要件確認の一つとして、有効です。ただし、申込から報告書の送付までに最短で1か月半程度期間を要することから、期限を十分に確認の上、余裕をもって申込を

行ってください。

なお、ゲノミック評価の申込手順及び報告書の送付手順は以下のとおりです。



※申込等に関するお問合せは、農協または当協会までお願いします。

岩手県チキン協同組合 第53回通常総会

令和7年5月20日、岩手県チキン協同組合（十文字保雄理事長）の第53回通常総会が、組合員全員出席の下、盛岡市内で開催されました。



十文字理事長

冒頭の理事長の挨拶要旨は次のとおり。「過去1年を振り返ると、鳥インフルエンザの発生事例が多く、岩手県でも本年1月に5事例発生し、岩手県、関係団体の皆様には、大変ご苦労をおかけした。理事長として6年間勤めさせていただいたが、新型コロナ感染拡大の影響

等もあり、理事長の立場として、岩手県の消費拡大の意見をなかなかまとめることができなかった。岩手県チキン協同組合の今後の在り方について、次期理事長をはじめ、組合員全員で考え、良い方向で結論を出していただければありがたい。」

総会では令和6年度事業報告・決算、令和7年度事業計画・予算等の議案が原案どおり承認されました。令和7年度事業計画では、昨年度に引き続き、岩手県ブロイラー価格安定対策事業の推進、食鳥検査及び各種疾病等対策の実施、県産鶏肉普及宣伝事業の実施などに重点を置いた事業推進を図ることとしました。

また、今回の通常総会では、役員の改選が行われ、現理事長の十文字氏の後任に矢元淳一氏が新理事長として選任されました。

岩手県馬事振興会 第53回定時総会

令和7年5月29日、一般社団法人岩手県馬事振興会（千葉伝会長）の第53回定時総会が盛岡市内で開催されました。

冒頭の会長の挨拶要旨は次のとおり。「飼養戸数、頭数の減少が続いているが、チャグチャグ馬



千葉会長

コも含めて県内の大きな行事には馬が欠かせないものとなっている。昨年、東京チャグチャグ馬コ保存会との連携により、東京都中央区で開催された日本橋・京橋まつりに参加し、チャグチャグ馬コが4頭先導した大江戸活粋パレードでは、チャグチャグ馬コのあでやかな飾り

動物の健康は人の健康につながる

●動物用医薬品販売の全国ネットワークを駆使し、あらゆる動物の健康維持に貢献します。

動物用医薬品・畜産用資材・器材・医療機器・医薬品

MPアグロ株式会社

本社:北海道北広島市大曲工業団地6-2-13 盛岡支店:TEL 019(638)3291

つけと大小数百の鈴の音に魅了されるなど、来場者の反響は大きかった。岩手県馬事振興会の様々な事業は、皆様のご協力を得ながら実施し、種雄馬の配置、配置換え等にも取り組んでいる。登録も含めて岩手の馬事振興を頑張っ参りたい。」

岩手県養豚振興会第28回 通常総会及び養豚経営研修会

令和7年6月17日、岩手県養豚振興会（橋本晋栄会長）の第28回通常総会及び令和7年度第1回養豚経営研修会が盛岡市内で開催されました。



橋本会長

冒頭の会長挨拶要旨は次のとおり。「これから養豚経営をしていく中で、色々な知識等をしっかりと得て、情報を共有し、自分たちのものにして技術を研鑽しながら養豚業界、畜産業界を発展させていきたい。強い養豚業界を作っていくために生産者同士が関係性を構築し、力を合わせて前に進んでいきたい。」

総会では、令和6年度事業報告、収支決算、令和7年度事業計画、正会員会費の改定や役員を選

総会では、令和6年度事業報告及び計算書類等が上程され、原案どおり承認されました。令和7年度事業計画では、馬産農家や後継者・技術者の育成、優良馬改良、繁殖促進などに重点を置いた事業推進を図ることとしました。

任について審議されました。令和7年度事業計画では昨年度設立された青年部活動や県産豚肉消費拡大活動を充実、強化することとして、提出議案が全て原案どおり承認されました。



五十嵐講師

研修会では、山形県鶴岡市の株式会社五十嵐ファーム代表取締役の五十嵐一春氏から、「未来を勝ち取れ！日本型養豚ビジネスモデル」と題してご講演いただきました。優れた系統の種豚（TOPIGS）導入による生産性の改善、飼料米・米菓を利用した飼料費の低減など、売上とコストを常に把握し時代の流れを読んだ経営の重要性、アスパラガスとの複合経営による地域住民の雇用や地元の小中学校への食育活動を通じた地域貢献など、今後の家族経営の在り方について大変参考になる内容で、講演終了後も個別に講師に質問している参加者もあり、非常に有意義な研修会となりました。

令和7年度岩手県乳用牛群 検定推進協議会通常総会

令和7年6月25日、岩手県乳用牛群検定推進協議会（会長・宇部洋吾新岩手農業協同組合常務理事）の令和7年度理事会・通常総会が滝沢市内で開催されました。

冒頭、宇部会長からの挨拶要旨は次のとおり。「牛群検定は乳牛の改良の礎であり、酪農経営の要となるもの。牛群検定情報から膨大なデータとなって国内種雄牛の評価にもつながっている。昨年度の総会でAT法への移行を進める取り組みについてお願いしたが、地域によっては増えていない現状もあるので、引き続き取り組んでいただきたい。ここ数年は、暑熱の影響で時期により生乳生産量に偏りが出ていたがようやく回復しつつあ



総会の様子

る。一方で、1頭当たりの産乳量には地域差があり、これが牛群検定加入率による差なのか、生産規模の違いなのかは別として如実に現れている。我々、牛群検定に携わる側はこのようなデータを意識し飼料高の時代に立ち向かえる生産量を確保して欲しい。」

総会では令和6年度事業報告及び令和7年度事業計画等、提出された議案の全てが承認されました。

農畜産物の「安心・安全」を未来につなぐ

小田島商事株式会社

本社 〒025-0311 花巻市卸町66番地 TEL 0198-26-4151

＜動物用医薬品・ワクチン・プレミックス・器具機材＞

花巻(営) 0198-26-4700 八戸(営) 0178-34-2284

大船渡(営) 0192-26-4740 プレミックス工場 0198-26-4726

横手・青森・古川・山形・酒田・福島・旭川・札幌・帯広・釧路

2025岩手県ブラックアンドホワイトショウ開催

令和7年5月2日、岩手県ホルスタイン改良同志会（会長 八幡勝幸）主催の2025岩手県ブラックアンドホワイトショウが雫石町の全農いわて中央家畜市場を会場に山形県の渡辺雄大氏を審査員に迎え、100頭を超える出品頭数の中、多くの来賓や観覧者が参加され、盛大に開催されました。

八幡会長は開会式の冒頭で「酪農を取り巻く情勢は厳しいものがあるが、今年10月に第16回全日本ホルスタイン共進会北海道大会」（以下「全共」という。）が10年振りに開催される。本日の出品牛からも代表牛が選ばれる可能性もある。会員の中からひとりでも多く全共出品を果たし、良い成績を残せるよう期待している。」と挨拶。その後、



第1部から第11部まで比較審査が行われ、乳牛の資質に優れ、全体のバランスの良い牛が上位に選出されました。

なお、未經産牛及び経産牛のグランドチャンピオンは以下のとおりです。

【グランドチャンピオン】

未經産牛の部：洋野町 清水利月
経産牛の部：雫石町 小岩井農場

畜産フェア開催

令和7年6月15日(日)、水沢競馬場で東北各県の畜産6団体*による畜産フェアが開催されました。

この畜産フェアは、地方競馬の活性化を支援するとともに、参加各県の畜産に対する理解促進を図ることを目的に開催したものです。

当日は、開門時間の11時前から若者や年配の方、家族連れなど多くの来場者で長蛇の列ができていました。用意された引換券1,200枚は25分ほどで配付が終了し、引換券を受け取ったあと直ぐに畜産加工品と交換した来場者がプレゼントを手に満面の笑みを浮かべている表情が印象的でした。

なお、地方競馬の売上げの一部は、畜産農家の経営改善、後継者の育成、家畜の感染予防等、畜



産振興に役立てられています。

*青森県馬事畜産振興協議会、秋田県馬事畜産振興協議会、宮城県地域畜産振興対策協議会、山形県馬事畜産振興協議会、福島県馬事畜産振興協議会、岩手県競馬振興協議会（事務局は各県の畜産協会）

家畜の保健衛生 (160)

【豚熱対策】ワクチン接種の適期を見極めよう

豚熱は、2018年9月に26年ぶりに国内で発生が

確認されて以降、2024年5月の本県の事例や、今年4月の群馬県の2事例を含め、現在（2025年6月15日）までに99事例（疫学関連農場を除く）が確認されています。現在は北海道を除くすべての都府県で豚熱ワクチンが接種されていますが、野生いのしし豚熱感染確認地域では、豚熱ウイルス

- 共進会用 馬・乳牛用頭絡手綱・馬衣・乳牛用新型牛衣・ ●牛馬手入用毛ブラシ
- 肉牛用肉牛衣
- 普通乗鞍・ウエスタン鞍・ポニー用鞍等乗馬具・鞍馬具一式・畜犬具
- 電気工事用革ケース・カバン・ズック製袋カバン・リュックサックバンド・安全帯
- せんでい鉄ケース他造園工具ケース類 ●その他特別注文のカバン等承って居ります

創業110年品質第一手造りの店

岩手県指定店 **塩釜馬具店**

盛岡市大沢川原2丁目2の32 TEL019-622-5393 (労働福祉会館隣)

の農場への侵入リスクが高い状態が続いています。ここで、今一度、豚熱の発生・まん延防止の対策を確認しましょう。

1 野生いのししの豚熱拡大対策

岩手県では、2022年に野生いのししで初めて豚熱ウイルス感染が確認されて以降、県、市町村、猟友会、畜産団体等が連携し、豚熱経口ワクチンの散布を実施しています。今年度は散布地点・個数を増やし、全市町村の山林等（約390地点）に、各4回（約31,200個）を散布する計画です。

2 豚熱ウイルスの農場内への侵入防止

飼養衛生管理基準の遵守が重要です。野生動物の侵入防止（防護柵等）、衛生管理区域・豚舎毎に専用の作業着・長靴の使用、車両消毒等の徹底により、病原体の侵入を防ぎましょう。

3 ワクチン接種による豚熱感染防御

岩手県では2021年から豚熱ワクチン接種を実施しています。現在は、母豚の更新、抗体価のばらつきや低下に伴い、子豚の移行抗体の消失時期が早まっている傾向があります。しかしながら、ワクチン接種時期が、①早すぎると、移行抗体によりワクチンウイルスが排除されてしまい、十分な免疫を獲得できず、②遅すぎると、「免疫空

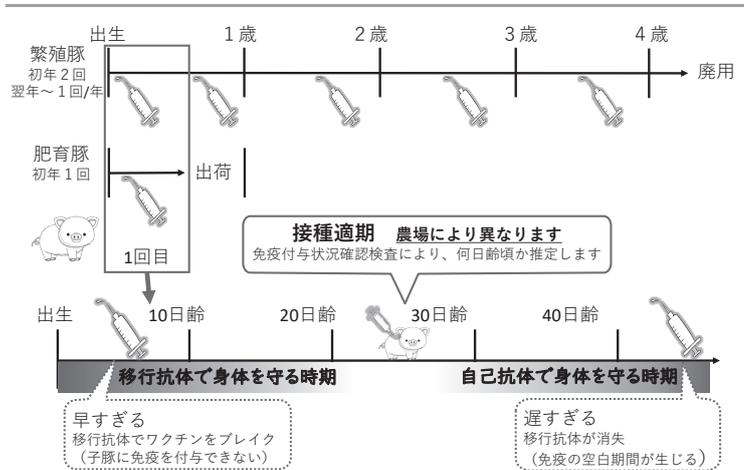
白期間」が長くなり、豚熱ウイルスに対して無防備な状態が続いてしまいます。国内の豚熱ワクチン接種農場における散発的な発生は、ワクチン接種前後の「免疫空白期間」と農場への豚熱ウイルスの侵入が重なることが要因と考えられています。

豚熱の発生予防には、前述の飼養衛生管理基準の遵守に加え、免疫付与状況確認検査の結果を踏まえて、農場ごとの「適切なワクチン接種の適期を見極めること」が重要です。



岩手県HP：豚熱に関する情報

豚熱ワクチンの特性



畜産の研究 (155)

全国トップクラスの産肉成績を誇る岩手県有種雄牛

「福太郎3」号及び「菊美翔平」号

1 県基幹種雄牛「福太郎3」号及び「菊美翔平」号

いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会（県、農業団体等で構成。会長・県畜産課総括課長）での協議を経て、令和6年3月に基幹種雄牛として選抜した「福太郎3」号及び「菊美翔平」号を紹介します。

【福太郎3】号

血統：金太郎3 × 第2平茂勝 × 菊福秀 × 福栄



「福太郎3」号は、県南和牛育種組合育種牛の「ふくしげ」号に、長崎県の基幹種雄牛である「金太郎3」号を交配し、奥州市江刺で生産されました。

種雄牛の産肉能力を評価する現場後代検定（表1）では、去勢の枝肉重量（561.1kg）とバ

小ロットのオンデマンド印刷から大量商業印刷まで

各種印刷・ドキュメント処理・アンケート調査支援



CTPシステム

小松総合印刷株式会社

岩手県盛岡市鉦屋町15-4 TEL (019) 624-1374 FAX (019) 623-6719 E-mail: mail@komatsu-gp.com URL: http://www.komatsu-gp.com

ラの厚さ(9.7cm)は本県歴代最高成績を更新し、BMSNoが去勢で10.3、雌で10.2となり、枝肉とバラの圧倒的ボリュームだけでなく、肉質を兼備した成績を記録しました。

さらに、公益社団法人全国和牛登録協会が令和7年3月に評価した最新の育種価では、県内で利用された他県や民間の全国レベルの種雄牛を含む3,226頭のうち、バラの厚さが第1位、枝肉重量が第5位、脂肪交雑が第6位になりました。

表1 「福太郎3」号の現場後代検定成績

Table with 10 columns: 性別, 検定頭数, CW (kg), REA (cm), RT (cm), SFT (cm), YE (%), BMS (No), BMS No.12率, MUFA (%). Rows for 去勢 and 雌.

CW: 枝肉重量, REA: ロース芯面積, RT: バラの厚さ, SFT: 皮下脂肪の厚さ, YE: 推定歩留, BMS: 脂肪交雑, MUFA: 一価不飽和脂肪酸

「菊美翔平」号は、平成30年2月から1年間脂肪交雑の県内育種価が第1位であった「みゆき」号に、本県の基幹種雄牛「辰美継」号を交配し、奥州市胆沢で生産されました。

現場後代検定成績(表2)は、去勢のロース芯面積(71.5cm)とBMSNo(10.6)、雌のBMSNo(10.3)において本県歴代最高成績を大幅に更新しました。圧倒的なサイズのロース芯面積と、高水準の脂肪交雑の二刀流が期待されます。

さらに、前述の最新育種価では、脂肪交雑が第3位と高く評価されました。

表2 「菊美翔平」号の現場後代検定成績

Table with 10 columns: 性別, 検定頭数, CW (kg), REA (cm), RT (cm), SFT (cm), YE (%), BMS (No), BMS No.12率, MUFA (%). Rows for 去勢 and 雌.

CW: 枝肉重量, REA: ロース芯面積, RT: バラの厚さ, SFT: 皮下脂肪の厚さ, YE: 推定歩留, BMS: 脂肪交雑, MUFA: 一価不飽和脂肪酸

【菊美翔平】号

血統: 辰美継 x 茂洋 x 平茂勝 x 紋次郎



2 共同利用種雄牛への選定と産肉能力育種価

農林水産省が優良種雄牛の作出・利用を目的に推進する広域後代検定において、「福太郎3」号及び「菊美翔平」号の産肉能力が高く評価され(表3)、参加20道県の育種改良に活用される共同利用種雄牛に選定されました。

3 凍結精液の供給と情報発信

凍結精液の供給価格は、令和7年5月末時点で「福太郎3」号及び「菊美翔平」号が2,000円/本(手数料・税別)となっています。

また、令和7年10月から「菊美翔平」号の産子

表3 新たに選抜された共同利用種雄牛の産肉形質の育種価と正確度

Table with 11 columns: 名号, 枝肉重量 (kg), BMS (No), ロース芯面積 (cm), 日齢枝重 (kg/day), バラの厚さ (cm). Each category has two sub-columns for 育種価 and 正確度.

注1) 広域後代検定で評価された育種価は、各道県で算出されている育種価とは評価対象の集団が異なる

注2) 日齢枝重=肥育牛の枝肉重量/と畜時日齢

注3) 2015~2019年の間に検査した公表対象種雄牛(222頭)の育種価平均を0となるよう補正

『生産者と共に豊かな食生活を未来へつなぐ』

JA全農くみあい飼料株式会社

北日本事業本部 北東北支店 岩手営業所

〒020 0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南2丁目5番2号 TEL 019-638-7910 FAX 019-638-7920

の和牛子牛市場上場が見込まれています。
県では、「岩手県有種雄牛」の評価向上のため、
今後もFacebook、YouTube等による情報発信及
び和牛専門誌への広告掲載等、県有種雄牛の利用

拡大に向けたPR活動に努めてまいります。

(執筆者 岩手県農業研究センター畜産研究所
種山畜産研究室 佐々木優希)

乳用牛群検定情報 (18)
一般社団法人家畜改良事業団

～暑熱～

今回は、各検定成績からそれぞれに効果的な暑熱対策を行う方策を紹介します。

1 岩手カウダス(気象庁のアメダスを利用して牛群検定データと関連付けた情報)

昨年の岩手県内での気象情報カウダスを図に示しました。昨年は、岩手県内で5月ごろから、30度を超える真夏日が出現しましたが、7、8月は降水量も多く、朝方に冷え込むことも多かったようです。結果として、岩手県内の乳量推移は堅調でしたが、個々の農家でみると暑熱の影響が強く出てしまった事例もあり、個別に暑熱対策を講じる必要があります。

2 乳量(表①)

暑熱が影響する典型的な事例は乳量の減少です。表①で示したとおり、7、8月に顕著に減少しています。特に都府県においては、暑熱による乳量減少は当然のように考えている農家も多いのですが、標準乳量もチェックする必要があります。標準乳量は季節補正された乳量ですので、表のように標準乳量も減少しているということは、他の検定農家以上に乳量が減少していることを意味します。乳量の減少は飲水が関与することが多いので、給水関係(汚れや水量など)をチェックしてください。

また、送風や遮光などの改善ももちろん必要です。

3 乳成分(表②)

表②は、乳脂率の低下した事例となります。都府県では基準の3.5%を下回ってしまうことも少なくありません。粗飼料摂取の減少が主要因になりますが、濃厚飼料も含め乾物摂取量を維持することが必要です。TMRへの加水や、夜間給餌、カルシウムやビタミン、重曹などの利用が知られ

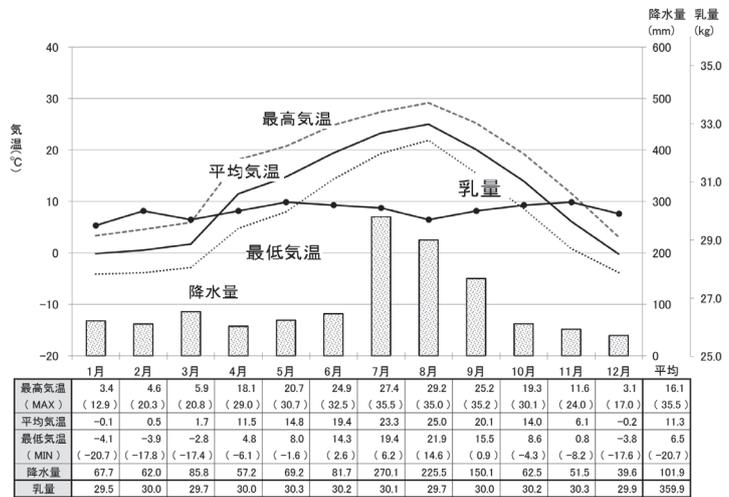


図 2024年 牛群検定気象情報 -カウダス- 岩手

表 暑熱の影響

検定成績表(牛群成績)

Table with columns for detection date, milk yield, milk fat, protein, solids, and various quality indicators. It includes a '移動13ヵ月成績' section and a '前年成績' section at the bottom.

TOHO ACETYLENE logo and text: ガスの未来、その一歩先へ ~Our Future. Take one step~ 東邦アセチレン株式会社 八戸支店

ています。また、乳脂率の低下を防ぐ対策として、油脂系飼料等が有効です。

4 体細胞数(表③)

乳房炎は、夏季に増加する傾向があります。高温多湿による「夏バテ」で体力(免疫力)が低下してしまうことに加え、牛床が湿りがちとなり細菌が増殖しやすい環境になってしまうこと等が主な要因です。表③では9月に年平均の2倍となる522千個となっています。前述した給水や飼料給与により体力維持に務めるとともに、牛床や搾乳機器を清潔に管理することが求められます。

5 繁殖(表④)

暑熱が繁殖に影響することは広く知られています。検定成績で繁殖への影響を見る場合は、受胎率に加えて授精頭数もチェックすると良いでしょう。夏季は良い発情が無ければ、農家自身が授精を見送るからです。また、受胎率は結果が出るまで1カ月以上空いてしまい成績への反映に時間を要してしまいます。繁殖への影響は、やはり夏季の体力低下が主要因であり、ここまで記した飼養管理改善が必要ですが、受精卵の利用など最新の繁殖技術も利用すると良いでしょう。

畜産技術情報(109)

黒毛和種の繁殖管理と暑熱対策

1 繁殖管理について

岩手県では、黒毛和種繁殖経営の安定のため、岩手県酪農・肉用牛生産近代化計画の中で分娩間隔3日を目標にしています。繁殖管理のポイントを確認し、暑熱の影響を回避して安産させましょう。

繁殖管理のポイント

- 「分娩後、3か月で受胎させる」という計画を立てる
- 栄養管理により、子牛発育と繁殖機能の早期回復を図る
- 暑熱対策は夜間も行う

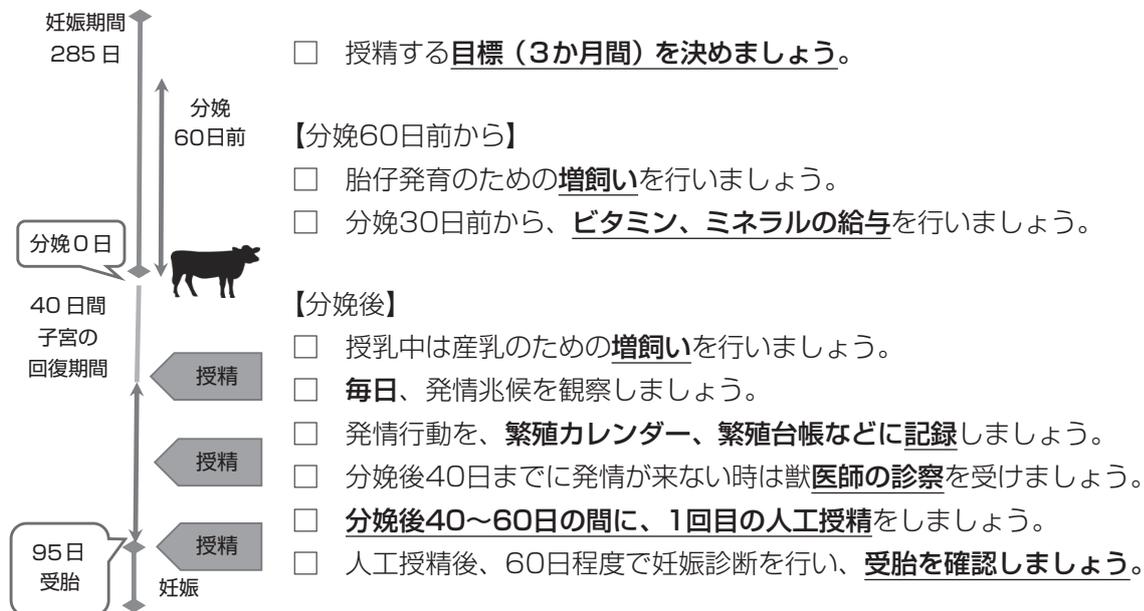


図1 分娩間隔380日(岩手県の目標) 達成プログラム



毎日3回、牛乳・ヨーグルト・チーズ。「3-A-Day」をはじめよう。

3-A-Dayのルールは簡単。牛乳・ヨーグルト・チーズをどれでも自由に1日3回(または3品)、食生活にとり入れる。そうすれば少ないエネルギー(カロリー)で食生活が改善されて、栄養バランスの良い食事になるという、簡単で手軽にできる健康習慣の提案です。

3-A-day

検索

岩手県牛乳普及協会

〒020-0024 盛岡市菜園一丁目4番10号第二産業会館
TEL.019-653-3795

(1) 繁殖管理の計画

分娩後の繁殖は、どのように取り組んでいますか？

Aさん：「発情がきたら授精する」

Bさん：「分娩後、40日までにいい発情をこさせる」

分娩間隔が415日から380日に短縮されると、繁殖牛10頭では、1頭の子牛を多く生ませることができます(表1)。ぜひ、Bさんのように「いい発情」をこさせる取組を行いましょ

表1 分娩間隔380日と415日の子牛生産頭数

事故率5%、子牛販売額60万円として試算

		繁殖雌牛頭数	10頭	20頭	30頭	50頭
子牛生産頭数	分娩間隔415日		8	16	25	41
	分娩間隔380日		9	18	27	45
増加する子牛(頭)			1	2	2	4
増加する子牛販売額(万円)			60	120	120	240

(2) まずは「安産させる」こと

難産になると、その後の経過に良いことは一つもありません。

難産→母体の消耗、起立不能、後産停滞、子宮回復の遅れ、食欲の低下、泌乳量の減少、発情回帰の遅れ、治療にかかる時間、労力、経費・・・これらを回避するには、安産させることが一番大事です。安産させるために、管理を再確認してみましょう。

(3) 分娩前後の栄養管理

妊娠末期(分娩前60日間)や分娩後の授乳期は、養分要求量が増えます。良質な乾草のほか繁殖牛用の配合飼料の給与量を増やしましょう。また、卵子は2か月以上かけて成熟し、排卵に至ります。分娩後に排卵する卵子は、分娩前から発育を開始しています。エネルギーやミネラルを充足させて元気に発育した卵子を排卵させることを目指しましょう。

ア 分娩60日前から、配合飼料1~2kg/日を目安に増し飼いを行います。分娩前1か月間に体重が増える胎仔のため、特にタンパク質を充足させます。

また、分娩後、授乳期間の3か月間程度は、授乳のための栄養として、配合飼料4kg/日を目安に給与します。

急激に太らない・痩せないよう、注意します。

表2 分娩前後の養分要求量の比較と給与量を目安 繁殖雌牛 体重550kg

		維持期	分娩前60日	分娩後(泌乳量6kg)
養分要求量	CP(g)	551	763(138%)	1,133(206%)
	TDN(g)	3,510	4,340(124%)	5,670(162%)
	DM(g)	7,020	8,020(114%)	10,020(143%)
給与量の例	オーチャード乾草(kg)	6	6	6
	稲わら(kg)	2	2	2
	配合飼料(kg)	0.6	2	4

() 維持期に対する割合

イ ビタミン、ミネラルを補給します。

飼料中の含有量を確認し、記載されている量を給与します。暑熱時には、要求量が10%増えますので、考慮します。

ビタミンA・Eは、免疫機能維持のほか、エストロゲン、プロゲステロン等、性ホルモンの産生に重要ですので、受胎を確認するまで給与します。

カルシウム・マグネシウムは、筋肉を動かすときに必要なミネラルです。心臓、胃や消化器官はもとより、子宮の筋肉の弛緩・収縮にも使われます。分娩時に不足すると、陣痛微弱、起立不能や後産停滞などの症状が出やすくなります。

(公社)中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

がんばる!畜産!8

畜産現場の“今”を30分の番組にしました!
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください!
配信の内容:総集編 思いが繋ぐ畜産の未来/明るい未来へ向け
て畜産DXの取り組み/乳用牛改良の取り組み/地
域ぐるみで国産飼料生産!ほか

(公社)中央畜産会 経営支援部(情報) TEL.03-6206-0846



スマートフォンからはこちら
パソコンからはこちらで検索
がんばる畜産

2 暑熱対策について

(1) 体感温度を下げる

牛は、25℃以上で「暑い」と感じています。風速1m/秒では6℃、風速2m/秒では8℃、体感温度を下げるすることができます。頸や肩に送風するなどして体感温度を下げます。

夜間も積極的に送風し、日中に受けた暑熱ストレスをクールダウンします。

(2) 給与時間の工夫

気温が高いと食欲も低下します。夕方の給与量を増やして、涼しい夜間に多く採食できるようにします。

(3) 水の充足

気温の上昇とともに、飲水量も増えます。いつでも新鮮な水が飲めるように、水量の確保、水槽の清掃を行います。

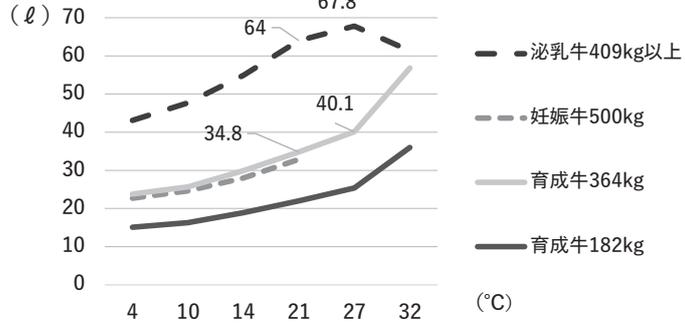


図2 黒毛和種 気温と1日の飲水量

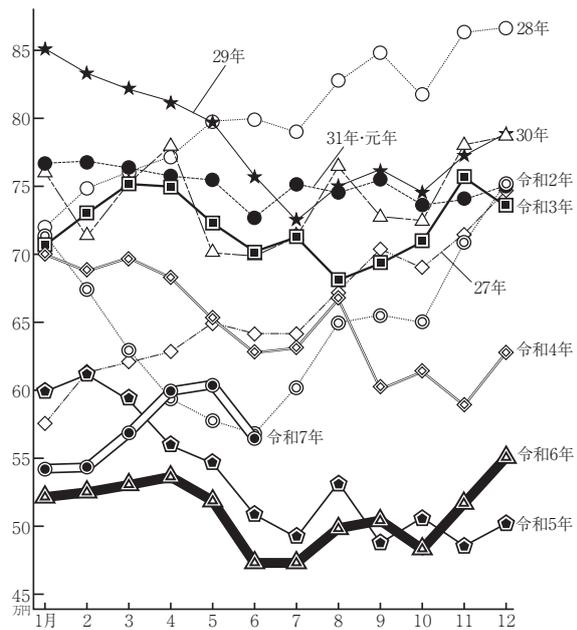
県内黒毛和種子牛市場成績

(全農岩手県本部)

市場区分	性別	令和7年5月			令和7年6月		
		頭数	平均価格	平均体重	頭数	平均価格	平均体重
県南初日 胆江・気仙	雌	105	574,860	304	115	552,047	299
	雄						
	去勢	126	679,573	334	145	622,114	336
	計	231	631,976	320	260	591,123	319
県南2日目 磐井	雌	90	549,743	304	120	522,665	299
	雄						
	去勢	135	631,775	332	136	628,076	341
	計	225	598,962	321	256	578,664	321
中央初日 滝沢・雫石 八幡平・玉山 岩手・葛巻	雌	160	537,281	287	135	499,783	290
	雄						
	去勢	212	665,033	321	216	580,922	319
	計	372	610,086	306	351	549,715	308
中央2日目 紫波・盛岡 花巻・北上 遠野	雌	132	534,342	297	136	499,691	295
	雄						
	去勢	195	667,813	337	177	583,727	327
	計	327	613,935	321	313	547,213	313
中央3日目 宮古・北部 奥中山・久慈	雌	149	517,952	294	153	518,438	291
	雄						
	去勢	232	612,197	324	222	597,424	319
	計	381	575,340	312	375	565,198	308
合計	雌	636	540,110	296	659	517,382	295
	雄						
	去勢	900	649,062	329	896	599,388	327
	計	1,536	603,949	315	1,555	564,635	313

※ 価格は円(税込み)、体重はkg

子牛価格の推移



県内家畜市場における指定肉用子牛取引実績

公益社団法人岩手県農畜産物価格安定基金協会

区分	令和7年5月		令和7年6月	
	頭数	平均価格	頭数	平均価格
黒毛和種	1,259頭	583,839円	1,290頭	547,763円
褐毛和種	-	-	-	-
日本短角種	-	-	-	-
ホルスタイン種 (雌を除く)	-	-	-	-
交雑種・乳	21頭	347,443円	5頭	266,200円

※ 指定肉用子牛とは、肉用子牛生産者補給金制度における、平均売買価格算定の対象となる牛(区分ごとに体重の範囲が定められている。)

※ 平均価格は消費税込み